

9 成人保健

いきいきとした高齢期を過ごすためには壮年期からの健康管理が大切です。特に死亡率の6割以上を占めている、がん・心臓病・脳卒中・糖尿病などの生活習慣病対策が重要です。

鶴岡市では、健康増進法に基づく各種健康診査や健康相談をはじめ市民の健康づくりのための事業を実施しています。

(1) 健康診査事業

(令和3年度予算額 188,126千円)

がん、心臓病、脳卒中、糖尿病などの生活習慣病の予防や早期発見のため、年1回必要な健診と健診結果に基づく指導を行い、働き盛りからの健康管理と老後の健康の保持に役立たせようとするものです。

○健診種類

- ・胃・大腸がん集団検診……………各地区公民館、コミセン等で実施
- ・呼吸器（肺がん・結核）集団検診……………各地区公民館、コミセン等で実施
- ・子宮がん個別検診……………市内4医療機関で実施
- ・乳がん個別検診……………市内9医療機関で実施

(うち、乳房エックス線検査は6医療機関で実施します。)

- ・がん検診（人間ドック 胃・大腸・呼吸器・子宮・乳がん）市内5医療機関で実施
- ・骨粗しょう症検診……………市内5医療機関で実施
- ・肝炎ウイルス検査……………指定の日時・会場で実施
- ・歯周疾患個別検診……………県内委託医療機関で実施
- ・特定健康診査（基本健康診査に準ずる健診）

集 団……………各地区公民館、コミセン等で実施

個 別……………市内43医療機関で実施

人間ドック……………市内4医療機関で実施

○委託料（税込）

(単位：円)

検 診 項 目		3年度	検 診 項 目		3年度
胃がん検診	集団	4,983	骨粗しょう症検診	人間ドック	3,178
大腸がん検診	集団	1,921	肺炎ウイルス検査	集団	3,300
子宮がん検診	集団	4,400	歯周疾患検診	集団・個別	5,320
	個別	6,992		男	14,065
乳がん検診	集団	1方向	がん検診 (人間ドック)	女(子宮)	17,661
		2方向		女(子宮、乳(1方向))	21,215
	個別	1方向		女(子宮、乳(2方向))	22,315
		2方向		特定健康診査	集団
肺がん検診	集団	読影	特定健康診査	個別(人間ドック含む)	10,076
		喀痰検査			
	ドック	喀痰検査			

※特定健康診査は基本項目、詳細項目すべてを実施した場合の委託料となります。

※がん人間ドック検診は該当する検診すべてを実施した場合の委託料となります。

○自己負担金

(単位:円)

検診項目		3年度	検診項目		3年度	
胃がん検診	69歳以下	1,000	骨粗しょう症検診	集団・人間ドック	500	
	70歳以上	200	肝炎ウイルス検査	41歳以上 69歳以下	300	
大腸がん検診	69歳以下	500		40歳・70歳以上	無料	
	70歳以上	100	歯周疾患検診	40・50・60歳	1,500	
子宮がん検診	69歳以下	1,200		70歳	無料	
	70歳以上	400	がん検診 (人間ドック)	男	6,300	
乳がん検診	69歳以下	1,200		女(子宮)	7,520	
	70歳以上	400		女(子宮、乳)	8,740	
呼吸器検診 (肺がん・結核)	読影	69歳以下	特定健康診査	64歳以下	1,500	
		70歳以上		無料	65歳以上(集団・個別)	300
	喀痰	69歳以下		600	65歳以上(人間ドック)	1,500
		70歳以上		200		

※生活保護世帯は、申請により全額免除されます。(人間ドックを除く)

※市町村民税非課税世帯は、申請により一部免除されます。(人間ドックを除く)

※特定健康診査の自己負担金は、加入する医療保険者によって異なります。

① 健康診査(基本健康診査に準ずる健診)

- ・健診の内容：問診、身体計測(身長・体重・腹囲)、身体診察、血圧測定、
検尿(糖・蛋白)、糖尿病検査(空腹時血糖またはヘモグロビンA1c)、
脂質検査(LDLコレステロール・HDLコレステロール・中性脂肪)、
肝機能検査(AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP))、
心電図検査、眼底検査、貧血検査、腎機能検査
- ・健診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方
(令和2年度実績)

		生活保護	その他	計
受診者数(人)	集団	98	1	99
	個別	12	0	12
	ドック	6	0	6
	計	116	1	117
階層区分(人)	積極的	9	0	9
	動機づけ	17	0	17
	計	26	0	26

② 胃がん検診

- ・ 検診の内容：問診、胃部エックス線検査、胃内視鏡検査
- ・ 検診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		30年度	元年度	2年度
対象者数(人)		48,023	47,249	47,867
受診者数 (人)	集 団	3,703	3,437	3,040
	ドック	11,968	11,573	10,108
	計	15,671	15,010	13,148
受診率	(%)	32.6	31.8	27.5
要精検者数	(人)	5,406	5,398	4,097
要精検率	(%)	34.5	36.0	31.2
	5,248	5,282	5,288	3,973
	97.2	97.7	98.0	97.0
	46	44	49	38

※精密検査の状況は、令和2年度については令和3年5月現在の数値。平成30・令和元年度については翌年度末までに報告のあったもの。

③ 大腸がん検診

- ・ 検診の内容：問診、便潜血検査（2日法）
- ・ 検診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		30年度	元年度	2年度
対象者数(人)		50,947	50,221	50,773
受診者数 (人)	集 団	6,643	6,497	6,030
	ドック	13,377	13,094	11,799
	計	20,020	19,591	17,829
受診率	(%)	39.3	39.0	35.1
要精検者数	(人)	1,467	1,448	1,336
要精検率	(%)	7.3	7.4	7.5
精検受診者数	(人)	1,113	1,159	890
精検受診率	(%)	75.9	80.0	66.6
がんであった人	(人)	38	43	30

※精密検査の状況は、令和2年度については令和3年5月現在の数値。平成30・令和元年度については翌年度末までに報告のあったもの。

④ 子宮がん検診

- ・ 検診の内容：問診、視診、頸部細胞診
- ・ 検診対象者：20歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		30年度	元年度	2年度
対象者数(人)		39,805	39,108	39,069
受診者数 (人)	集団	181	151	166
	個別	4,135	4,154	3,956
	ドック	5,252	5,047	4,465
	計	9,568	9,352	8,587
2年連続受診者数(人)		6,822	6,625	6,045
受診率(%)		31.7	31.4	30.4
要精検者数(人)		152	123	105
要精検率(%)		1.6	1.3	1.2
精検受診者数(人)		129	113	74
精検受診率(%)		84.9	91.9	70.5
がんであった人(人)		1	6	3

※受診率＝（「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」）÷当該年度の対象者数×100（国、県の算出方法）

※精密検査の状況は、令和2年度については令和3年5月現在の数値。平成30・令和元年度については翌年度末までに報告のあったもの。

⑤ 乳がん検診

- ・ 検診の内容：問診、視診、乳房エックス線（マンモグラフィ）検査
- ・ 検診対象者：40歳以上の偶数年齢の市民で、他で受診する機会のない方

		30年度	元年度	2年度
対象者数(人)		40,404	39,948	39,815
受診者数 (人)	集団	216	142	166
	個別	1,364	1,361	1,180
	ドック	3,099	2,785	2,672
	計	4,679	4,288	4,018
2年連続受診者数(人)		0	0	0
受診率(%)		22.9	22.4	20.9
要精検者数(人)		297	323	239
要精検率(%)		6.3	7.5	5.9
精検受診者数(人)		259	308	188
精検受診率(%)		87.2	95.4	78.7
がんであった人(人)		7	12	5

※受診率＝（「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」）÷当該年度の対象者数×100（国、県の算出方法）

※精密検査の状況は、令和2年度については令和3年5月現在の数値。平成30・令和元年度については翌年度末までに報告のあったもの。

⑥ 呼吸器検診（結核・肺がん検診）

- ・ 検診の内容：問診、胸部エックス線検査、かく痰細胞診（ハイリスク希望者）
- ・ 検診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		30年度	元年度	2年度
対象者数（人）		51,567	50,873	51,431
受診者数 （人）	集 団	7,839	7,746	7,011
	ドック	13,337	13,053	11,757
	計	21,176	20,799	18,768
	かく痰検査	435	426	332
受診率（%）		41.1	40.9	36.5
肺がん に対する精査	要精検者数（人）	333	436	390
	要精検率（%）	1.6	2.1	2.1
	精検受診者数（人）	293	386	288
	精検受診率（%）	88.0	88.5	73.8
肺がん以外 の疾患に に対する精査	要精検者数（人）	428	405	184
	要精検率（%）	2.0	1.9	1.0
	精検受診者数（人）	130	159	107
	精検受診率（%）	30.4	39.3	58.2
がんであった人（人）		9	14	6
結核であった人（人）		1	0	1

※精密検査の状況は、令和2年度については令和3年5月現在の数値。平成30・令和元年度については翌年度末までに報告のあったもの。

※がんであった人には、喀痰検査及び結核要精検でがんであった（）内の人数を含む。

⑦ 骨粗しょう症検診

- ・ 検診の内容：問診、骨塩定量検査
- ・ 検診対象者：40・45・50・55・60・65・70歳の女性の市民で、他で受診する機会のない方

		30年度	元年度	2年度
受診者数 （人）	集 団	111	66	81
	ドック	562	774	680
	計	673	840	761
要指導者数（人）		129	175	131
要精検者数（人）		110	211	196
要精検率（%）		16.3	25.1	25.8

⑧ 肝炎ウイルス検査

- ・ 検診の内容：問診、C型肝炎ウイルス検査、HBs抗原検査
- ・ 検診対象者：当該年度において40歳となる方又は41歳以上となる方で、過去に当該検診に相当する検診を受けたことがなく、本検診の受診を希望する方
(令和2年度実績)

	40歳総合検診(人)	集団検診(人)	計(人)
受診者	123	254	377
C型肝炎感染疑い	0	0	0
B型肝炎陽性	0	0	0

⑨ 歯周疾患検診

- ・ 検診の内容：問診、歯周組織検査
- ・ 検診対象者：40・50・60・70歳の市民で、他で受診する機会のない方

		30年度	元年度	2年度
対象者数(人)		7,089	7,014	6,824
受診者数 (人)	集団	149	106	113
	個別	176	200	188
	計	325	306	301
受診率	(%)	4.6	4.4	4.4
要精検者数	(人)	229	206	179
要精検率	(%)	70.5	67.3	59.5

⑩ 人間ドック

- ・ 健診の内容：特定健診、がん検診(胃・大腸・肺・子宮・乳)、その他検査
- ・ 健診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		30年度	元年度	2年度
1日	男	6,098	5,932	5,509
	女	7,092	6,821	6,199
	計	13,190	12,753	11,708
1泊	男	412	389	193
	女	118	114	51
	計	530	503	244
合計		13,720	13,256	11,952

⑪ 健康診査受診意向調査

市等で実施する各種健康診査の対象者がいる全世帯に対し、種別ごとにどのように受診するのかを把握する調査で、12月に実施しています。

	30年度	元年度	2年度
対象世帯数	45,660	45,725	45,881
提出世帯数	14,867	14,472	14,987
提出率(%)	32.6	31.7	32.7

※提出世帯数は各年度1月31日現在数値。

※登録制としたため、提出人数は掲載しない。なお提出は、人間ドック希望者及び登録情報に変更がある場合のみ。

(2) 成年期の健康診査事業

(令和3年度予算額 3,647千円)

生活習慣の変化により、若年層からの健康管理が重要であることから、40歳未満で他に健診機会のない方を対象に、自分や家族の健康管理の第一歩として健康の自己管理能力を育む支援を行うものです。

① さわやか健診

- ・健診回数：一般 レディース健診 6回、メンズ健診 3回 未受診者健診 5回
- ・検査項目：健康診査（特定健診と同じ項目：眼底検査を除く）
- ・健診時に全員に保健指導を実施
- ・レディース健診では一時保育を実施（一時保育利用 29人）

		30年度		元年度		2年度	
		レディース	メンズ	レディース	メンズ	レディース	メンズ
受診者数(人)		353	201	371	214	337	216
判定区分 (人)	要指導	117	73	166	79	135	65
	要医療(要精検)	97	93	94	104	82	113
	治療中	10	8	10	11	12	5
要指導・要医療(要精検)率(%)		60.6	82.6	70.1	85.5	64.4	82.4

(3) 後期高齢者医療保険健康診査事業

(令和3年度予算額 95,625千円)

山形県後期高齢者医療広域連合からの受託事業で、被保険者に係る糖尿病等の生活習慣病の早期発見、医療費適正化を図るために健康診査を実施するものです。

- ・健診の内容：問診、身体計測（身長・体重・腹囲）、身体診察、血圧測定、
検尿（糖・蛋白）、糖尿病検査（空腹時血糖またはヘモグロビンA1c）、
脂質検査（LDLコレステロール・HDLコレステロール・中性脂肪）、
肝機能検査（AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP)）、
心電図検査、眼底検査、貧血検査、腎機能検査
- ・健診対象者：鶴岡市に住所を有する被保険者のうち、施設入所等の除外者規定に該当しない方（下記の対象者は、上記のうち各年度4月1日時点で加入している方）
（実績：令和2年度は翌年4月受付分まで、平成30・令和元年度は実績値）

		30年度	元年度	2年度
対象者数(人)		22,201	22,187	22,436
受診者数 (人)	集団	2,234	2,313	2,109
	個別	2,684	2,668	2,586
	ドック	3,181	3,228	2,574
	計	8,099	8,209	7,269
受診率(%)		36.5	37.0	32.4

(4) 特定健康診査・特定保健指導事業 (令和3年度予算額 128,969千円)

※国保年金課国保医療係・健康課成人保健係

鶴岡市国民健康保険が被保険者の適切な健康管理を図るために、生活習慣病の予防に着目した健康診査及び健康診査の結果により健康の保持に努める必要がある者に保健指導を実施するものです。

- ・健診の内容：問診、身体計測（身長・体重・腹囲）、身体診察、血圧測定、
検尿（糖・蛋白）、糖尿病検査（空腹時血糖またはヘモグロビンA1c）、
脂質検査（LDLコレステロール・HDLコレステロール・中性脂肪）、
肝機能検査（AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GT(γ -GTP)）、
心電図検査、眼底検査、貧血検査、腎機能検査
- ・健診対象者：年度中に40歳以上となる被保険者のうち、施設入所等の除外者規定に該当しない方（下記の対象者は、上記のうち一年間通して加入している方）

（実績：令和2年度は翌年4月受付分まで、平成30・令和元年度は法定報告値）

		30年度	元年度	2年度
対象者数(人)		20,507	20,050	19,967
受診者数 (人)	集団	3,164	3,065	2,818
	個別	101	118	178
	ドック	7,324	7,173	6,162
	計	10,589	10,356	9,158
受診率(%)		51.6	51.7	45.9
特定保健 指導対象 者数(人) *詳細	積極的	318	289	244
	動機づけ	830	812	695
	計	1,148	1,101	939

* 特定保健指導詳細

指導状況：① 荘内病院人間ドックは市直営実施。

② 特定健診委託機関のうち3機関（健康管理センター・協立病院・みやはらクリニック）にて実施。

実施内容：180ポイントの個別支援のプログラムにて実施（初回面接、継続支援（個別面接・電話支援・支援レター）、3ヵ月後評価

実施状況

	積極的支援			動機付け支援			合計		
	対象者	実施者	実施率	対象者	実施者	実施率	対象者	実施者	実施率
2年度	244	60	24.6%	695	223	32.1%	939	283	30.1%
現在実施中の者		19	7.8%		86	12.4%		105	11.2%
元年度	289	62	21.5%	812	405	49.9%	1,101	467	42.4%
30年度	318	81	25.5%	830	387	46.6%	1,148	468	40.8%

令和2年度の実施状況は令和3年4月受付分までの数値

※平成30・令和元年度の実施状況は法定報告値（毎年度10月に確定）

(5) 健康教育・健康相談事業

(令和3年度予算額 1,718千円)

① 健康教育事業

健康教育は、生活習慣病の予防などの健康に関する正しい知識を広めることによって「自らの健康は自らがつくる」という認識と自覚を高め、「健康の自己管理能力」を育成することによって壮年期からの健康づくりを促進するものです。

- ・内容：各地区公民館やコミュニティセンターなどを会場に実施するほか、全市的な事業として医師・保健師・栄養士・健康運動指導士などを講師に健康講座の開催や健康づくりについての研修を行うものです。
- ・対象者：40歳以上の市民及びその家族

		30年度	元年度	2年度
歯周疾患	活動回数(回)	22	23	3
	人数(人)	433	539	33
ロコモティブ シンドローム*	活動回数(回)	227	165	70
	人数(人)	5,727	3,908	1,229
病態別	活動回数(回)	122	73	33
	人数(人)	2,011	1,531	1,002
薬	活動回数(回)	5	0	3
	人数(人)	106	0	122
一般	活動回数(回)	944	504	251
	人数(人)	25,909	11,092	5,190

*運動器症候群

② 健康相談事業

健康相談は、心身の健康についての個別の相談に応じた必要な指導や助言を行い、家庭における健康管理に役立てていただくものです。

- ・ 内 容：各地区公民館やコミュニティセンターなどを会場に、保健師が中心となって生活習慣病の予防などについての健康相談や医師、栄養士、歯科医師などの協力を得て、糖尿病予防、食生活改善、歯周疾患予防、寝たきり予防などの健康相談を行うものです。
- ・ 対象者：40歳以上の市民及びその家族

		30年度	元年度	2年度
重点健康相談	活動回数(回)	303	330	553
	人 数(人)	620	639	938
総合健康相談	活動回数(回)	1,201	1,853	796
	人 数(人)	13,567	13,606	12,280
計	活動回数(回)	1,504	2,183	1,349
	人 数(人)	14,187	14,245	13,218

③ ヘルスアップ事業

ヘルスアップ事業は、生活習慣病の一次予防として、個別健康支援プログラムの実施を行い市民の健康増進、医療費の伸びの抑制を図るとともに、健康づくり推進の担い手である健康づくりサポーターの組織育成・活動支援を行なうものです。

(1) ヘルスアップセミナー

肥満等の生活習慣病の危険因子を有する方に対し、個人の健康度や体力に基づいた個別支援や疾病・食生活等の講義、運動指導を実施し生活習慣改善と健康づくりサポーターとしての育成を図ります。

- ・ 対 象：40歳～70歳で以下の条件に1つ以上該当する方
 - ① BMIが24.0～30.9の方
 - ② 腹囲が基準値以上（男性85cm・女性90cm以上）の方
- ・ 実施内容：体重の減少を目的とした運動・食事指導を2週1回(合計8回)12週間行う個別健康支援プログラム（2コース：夜コース・午前コース）

(令和2年度実績)

	夜コース	午前コース
開催場所	総合保健福祉センターにこ♥ふる	
開催期間	6月2日～8月20日	9月9日～12月3日
受講人数	【新型コロナの影響により、令和2年度は夜コース中止】	15人
修了人数		14人(93.3%)

(2) スーパー健康づくりサポーター組織育成・活動支援

- ① 情報誌の企画・作成（年1回発行）
- ② 健康づくり強調月間のにこふる展示による啓発活動

④ 若年期への保健指導

若年期からの健康づくりを推進し、市民の生活習慣病予防および健康管理に対する意識の高揚を図ることを目的に実施するものです。

○さわやか健診時保健指導

- ・対象：さわやか健診を受診した者
- ・内容：スマートイート（かしこい食べ方）体験・試食、個人相談

○3か月後保健指導及び糖尿病・腎機能低下精密検査受診勧奨（令和2年度実績）

- ・対象：さわやか健診を受診した男性肥満者（腹囲85cm以上またはBMI25以上の者）81人、糖尿病精密検査対象の男女15人及び腎機能低下受診勧奨対象者4人
- ・内容：電話による保健指導、糖尿病及び腎機能低下精密検査受診勧奨

(6) 糖尿病予防対策事業（令和3年度予算額4,469千円（国保4,469千円））

増え続ける糖尿病の予防対策の一環として、「糖尿病精密検査回報書」を活用した精密検査の受診勧奨を行うと共に、未受診者に対して訪問指導やハイリスク者に対しセミナーを実施し、糖尿病の発症や重症化の防止を図ります。

① 糖尿病予防対策事業（回報書の活用）

特定健診で要精検となった方の結果を把握し、ハイリスクの方に対して生活習慣の改善を図り、糖尿病の発症や重症化を予防します。

- ・対象者：40～74歳の国保加入者（途中加入、生保者を含む）で、特定健診を受診した方（一泊ドックを除く）
 - ・精検対象者：空腹時血糖110mg/dl以上又はヘモグロビンA1c（NGSP値）6.0%以上
- ※定期受診や治療中を除く。

（血糖検査・精密検査受診状況）

年次推移状況	血糖検査受診者数	精検対象者数	要精検率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)
30年度	6,995	874	12.5	662	75.7
元年度	6,818	872	13.2	692	79.4
2年度	5,662	717	12.7	494	68.9

※令和2年度精検結果：令和3年5月末現在の糖尿病精密検査回報書の返信があったもの。
平成30年度、令和元年度については、翌年度末までに返信のあったもの。

（精密検査受診結果内容）

元年度	正常	境界型	糖尿病型	記載なし	回報書の返信なし	他疾患	計
人数(人)	183	198	149	21	140	1	692
割合(%)	26.4	28.6	21.5	3.0	20.2	0.1	100.0

※精検結果は、翌年度末までに回報書が返信されたものでまとめるため、令和元年度分を掲載。

② 糖尿病重症化予防訪問指導事業

受診翌月に対象者把握ができる特定健診データ管理システムを利用し、精密検査未受診者に対し受診勧奨を目的に訪問指導を実施し、糖尿病の発症や重症化を予防します。

○訪問指導対象者：特定健診データ管理システムにおいて、当該月に国保連に特定健診受診の報告があった者のうち、下記に該当し精密検査回報書が発行されたもので、受診3か月後に回報書の返信がないもの

- ・年齢：40歳～74歳
- ・検査結果：空腹時血糖 110mg/dl 以上あるいはヘモグロビン A1c (NGSP 値) 6.0% 以上 (定期受診を含む、治療中を除く)

		回報書 発行者	3か月後 回報書 返信あり	訪問指導 対象者	受診勧奨結果		受診勧奨（延数）		
					受診あり	未受診	訪問 面接	電話	その他 通知等
元年度	人数	872	349	523	343	180	38	221	393
	率(%)	100.0	40.0	60.0	65.6	34.4			
2年度	人数	717	277	440	257	183	27	290	184
	率(%)	100.0	38.6	61.4	58.4	41.6			

※受診勧奨結果は令和3年5月末現在において回報書の返信、また訪問指導事業で把握した数値。

③ 糖尿病予防健康相談・糖尿病予防セミナー

高血糖者及び医療通院者に対し、食事・運動を主体とした体験型セミナーを、対象者の感染症重症化リスクを考慮して、個別健康相談として実施し糖尿病の発症や重症化を予防します。

○対象者：前年度の特定健診血糖検査結果で回報書が発行された70歳未満の者
(精検結果異常なしは除く)。

○内 容：①管理栄養士による保健指導。(面談は、一人あたり概ね2回実施)
摂取カロリーに応じた食事量の目安、食べ方など改善状況を確認しながら個々に応じて指導を行う。

②3か月後支援レター(評価)を送付する。

○開催場所：総合保健福祉センター にこ♥ふる 相談室
(令和2年度実績)

(実施状況)	参加者数		2回参加率
	実	延	
糖尿病予防健康相談	18人	33人	83.3%

※糖尿病ふりかえり相談の件数含む。

④ 糖尿病予防フォローセミナー

糖尿病予防セミナー受講後も望ましい食・運動行動の定着化を目指すものです。糖尿病予防セミナーと同じく個別相談を実施します。

○対象者：令和元年度受講者 42 人

○内 容：管理栄養士による保健指導（面談は、一人あたり概ね 2 回実施）

○受講者：7 人

(7) 訪問指導事業

(令和 3 年度予算額 347 千円)

※健康課成人保健係

介護予防の観点から支援の必要な方、及び健康診査の結果で指導が必要と認められた方や家族に対して、保健師や看護師が訪問して保健指導を行い、心身の機能低下防止と健康の保持増進を図るものです。

(単位：人)

		30年度		元年度		2年度	
		訪問実人数	訪問延人数	訪問実人数	訪問延人数	訪問実人数	訪問延人数
要指導者	40～64 歳	136	189	138	172	18	19
	65 歳以上	128	152	104	114	24	26
	計	264	341	242	286	42	45
閉じこもり予防	40～64 歳	2	4	0	0	2	2
	65 歳以上	12	16	4	5	5	5
	計	14	20	4	5	7	7
介護家族者	40～64 歳	0	0	0	0	1	1
	65 歳以上	2	3	3	3	11	14
	計	2	3	3	3	12	15
寝たきり者	40～64 歳	0	0	0	0	0	0
	65 歳以上	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0
認知症高齢者	40～64 歳	0	0	0	0	0	0
	65 歳以上	9	18	8	11	7	13
	計	9	18	8	11	7	13
その他	40～64 歳	23	34	29	41	20	29
	65 歳以上	30	37	103	148	29	34
	計	53	71	132	189	49	63
口腔衛生指導(再掲)		0	0	0	0	0	0
計	40～64 歳	161	227	167	213	41	51
	65 歳以上	181	226	222	281	76	92
合 計		342	453	389	494	117	143

(8) がん検診受診率向上対策事業

(令和3年度予算額 7,034千円)

死亡原因第1位のがんから市民を守るため、特に40～50歳代の働き盛りの受診環境の整備を図り、早期発見・早期治療に有効ながん検診の受診率向上を図るものです。

○受診環境の整備

- ①40歳総合健診 ②日曜日がん検診 ③障害者通所施設健診 ④土曜日検診

① 40歳総合健診

健診元年にあたる、40歳を迎える市民を対象に総合的な健康診査を行うことで、健康管理の大切さの自覚を高め、働き盛りの年代の早世を予防するものです。就労時間を考慮し早朝に実施します。

- ・健診項目：特定健康診査、各種がん検診、歯周疾患検診、肝炎ウイルス検査
- ・総合健診受診者（令和2年度実績）

対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)
1,304	123	9.4

- ・各種がん検診、歯周疾患検診、肝炎ウイルス検査（40歳のみ）（令和2年度実績）

	肺がん 検診	胃がん 検診	大腸がん 検診	子宮がん 検診	乳がん 検診	骨粗鬆 症検診	歯周疾 患検診	肝炎 ウイルス 検査
受診者数(人)	118	98	120	71	74	81	113	123
要精検者(人)	0	4	4	1	5	0	65	0
要精検率(%)	0	4.1	3.3	1.4	6.8	0	57.5	0

② 日曜日がん検診

平日、仕事等で都合がつかずがん検診を受診できない、主に働き盛りの年代に焦点をあて、日曜日にがん検診を実施するものです。

- ・各種がん検診（令和2年度実績）

	肺がん 検診	胃がん 検診	大腸がん 検診	乳がん 検診	子宮がん 検診
受診者数(人)	152	183	199	77	95
要精検者(人)	1	6	9	6	1
要精検率(%)	0.7	3.3	4.5	7.8	1.1

③ 障害者通所施設健診

障害者の生活習慣病予防及び健康の保持と増進を図ることを目的に、一般の健診とは別に障害者に配慮した健診体制を整備し、通所施設に就労する障害者に対し集団健診を実施するものです。

- ・各種がん検診（令和2年度実績）

	肺がん 検診	大腸がん 検診	乳がん 検診
受診者数(人)	250	100	15
要精検者(人)	15	11	0
要精検率(%)	6.0	11.0	0

④ 土曜日健診

全国健康保険協会（協会けんぽ）等の被扶養者を対象に、特定健診未受診者健診の場を利用し、併せて市のがん検診を実施するものです。

- ・各種がん検診（令和2年度実績）

	肺がん 検診	胃がん 検診	大腸がん 検診	子宮がん 検診	乳がん 検診
受診者数(人)	95	0	81	0	0
要精検者(人)	2	0	3	0	0
要精検率(%)	2.1	0	3.7	0	0

○啓発事業

① がん検診受診向上対策キャンペーン

広く市民への受診啓発を図り、地域全体のがん検診受診向上をより一層推進するものです。

<庄内南部・庄内北部定住自立圏での合同実施(鶴岡市・酒田市・庄内町・三川町・遊佐町)>

日 時：令和2年10月3日(土)

場 所：イオンモール三川

内 容：受診啓発グッズの配布、がん検診に関するクイズ、ポスター・パネル展示、
保健師による健康相談、栄養士による栄養相談、がん総合相談

※庄内保健所主催「いきいき健康フェア2020」との合同開催

参加者数 1,035人

<市単独実施>

日 時：令和2年10月1日(木)～10月30日(金)

場 所：鶴岡市総合保健福祉センター「にこふる」

内 容：健康づくり強調月間事業に併せて実施、展示やクイズラリーによる普及啓発
クイズラリー参加者数：296人（10月にこふる貸館利用 延3,812人）

(9) がん患者医療用ウィッグ・乳房補整具購入費助成事業

(令和3年度予算額 1,360千円)

がん患者の治療と就労の両立、療養生活の質の維持向上のため、がんの治療に伴う外見の悩みや経済的負担を軽減する観点から、医療用ウィッグ・乳房補整具購入費の助成を行うものです。

助成金の額 医療用ウィッグ：2万円又は購入経費の2分の1の額のいずれか低い額

乳房補整具：1万円又は購入経費の2分の1の額のいずれか低い額

※令和2年度より乳房補整具購入助成事業実施

	30年度	元年度	2年度
医療用ウィッグ(件)	42	66	54
乳房補整具(件)	—	—	3

(10) 障害者に対する施策

① 障害者通所施設健診

障害者の生活習慣病予防及び健康の保持と増進を図ることを目的に、一般の検診とは別に健診日を設定し、通所施設に就労する障害者に対し集団健診を実施するものです。

・検査項目：健康診査(39歳以下は眼底検査を除く)

がん検診(肺がん・大腸がん・乳がん)

※がん検診については、「がん検診受診率向上事業」に掲載

受診者(人)	30年度			元年度			2年度			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
39歳以下 (さわやか健診)	105	80	185	95	68	163	93	70	163	
40歳以上	生活保護受給者等	26	14	40	31	18	49	30	21	51
	国民健康保険加入者	83	66	149	92	73	165	92	74	166
	後期高齢者医療保険加入者	13	10	23	12	13	25	15	16	31
	*他の医療保険加入者	15	12	27	15	15	30	10	13	23
合計	242	182	424	245	187	432	240	194	434	

※健康診査費については、各事業費より支出(*は除く)

(11) 中学生胃がん予防事業

(令和3年度予算額 2,151千円)

胃がん発生の95%以上原因とされるヘリコバクターピロリ（ピロリ菌）感染者を早期に発見し、胃の萎縮が進む前の感染後間もない中学生の時期に除菌治療を行うことで子ども達の将来の胃がん発生を予防し、胃がんの撲滅を目指します。

一次検査：学校定期健康診断の検査尿を活用したピロリ抗体検査

二次検査：一次検査陽性者の医療機関受診による尿素呼気試験

除菌治療：二次検査陽性者の内薬治療

成功確認検査：尿素呼気試験による除菌治療の成功、不成功の確認

対象者：中学2年生

	30年度	元年度	2年度
対象者（人）A	1,069	1,062	1,113
同意者（人）B	749	900	939
同意率（%）C=B/A	70.1	84.7	84.4
一次検査受診者（人）D	749	899	938
一次検査陽性者（人）E	66	62	43
一次検査陽性率（%）F=E/D	8.8	6.9	4.6
二次検査受診者（人）G	55	56	39
二次検査陽性者（人）H	27	39	23
二次検査陽性率（%）I=H/G	49.1	69.6	59.0
一次検査受診者に対する陽性率（%）（真の陽性率）J=H/D	3.6	4.3	2.5
除菌治療実施者（人）K	27	38	21
成功確認検査完了者（人）L	24	27	21
除菌成功者（人）M	21	26	20
除菌成功率（%）N=M/L	87.5	96.3	95.2

※令和3年5月末現在